

セネガル国 コミュニティ健康保険制度及び無料医療制度能力強化プロジェクト

《 ドレール CMU 》

セネガル国コミュニティ健康保険制度および無料医療制度能力強化プロジェクト（ドレール CMU）では、2019年8月から2020年3月までに、研修や会議等、20を超える活動を実施しました。特に注力した分野は診療報酬請求審査です。これらの活動に加えて、機材供与も行いました。保健共済組合（MS）、保健共済組合県連合（UDMS）、および医療保障庁（ANACMU）を対象に、オフィス機器や通信機器を調達しそれぞれの事務所へ配布しました。

医療保障庁（ANACMU）職員、保健共済組合職員、医療機関を対象とした研修の実施

1. 保健共済組合職員向け研修

GESTAM 研修

医療保障情報管理統合システム（SIGICMU）開発プロセスの一環として、ANACMU は情報システム局（DSI）を通じて、コミュニティ健康保険制度の日常業務を電子化した健康保険管理システム（GESTAM）を開発しました。GESTAM の導入に先立ち、システムの検証を兼ねた研修ワークショップが開催されました。

このワークショップにおいて、ANACMU の技術チームおよび MS に対して GESTAM が共有され、参加者からフィードバックが収集されました。GESTAM モジュールの最終化プロセスにはプロジェクト対象の 6 MS が参加しており、パイロットフェーズには、プロジェクト実施地域の 69 MS を含む 150 MS が参加します。



GESTAM 演習

GAFC 研修

クンベントウム県の保健共済組合（MS）で新たに事務や財務管理を担当する専任職員（Gérant）が雇用されたことを受け、彼らに対し、タンバクンダ州支部（SR）は事務・財務管理（GAFC）研修を実施しました。

参加者は GAFC ツールを使用した実践的な演習を通じて、医療保障制度の概要、組合運営方法と GAFC の基本原則について学びました。

本研修において、MS が直面する課題を共有し解決を図るため、MS、UDMS 技術支援員（UTG）、SR 職員による SUNUMUTUELLE（私たちの共済組合）という WhatsApp グループが結成されました。



GAFC 実践グループワーク

表：保健共済組合職員向け研修実績

	研修テーマ	対象	日時	場所
1	GESTAM共有ワークショップ	ANACMU, UDMS, UTG, MS	2019年8月6-9日	ティエス
2	クンベントウム県 MS 対象 GAFC 研修	クンベントウム県の Gérants	2020年3月10-13日	クンベントウム

2. 実務担当者向け研修

スーパービジョン研修

これまでの活動から、MS に対するスーパービジョン活動において改善すべき課題が浮き彫りになりました。2019 年 7 月 29 日～8 月 2 日にジュルベルにおいて、プロジェクト対象 3 州のスーパーバイザーのスキルアップを目的としてワークショップを開催しました。ワークショップを通じて、参加者はスーパービジョンガイドラインやコーチングの方法、データの収集・活用・分析方法のほか、MS の運営状況分析の方法を学びました。

また、UDMS および SR の報告システムでは、県および州レベルの集計結果を示すだけで、個々の MS が直面する問題を特定できるものではありませんでした。この状況を解決するため、データ分析に関する研修が 2019 年 11 月に開催され、MS ごとの課題の特定と解決策の提示方法についてトレーニングしました。モニタリングやスーパービジョン活動におけるスーパーバイザーのタスクを容易にするために、MS のパフォーマンスを個別に分析する Excel ツール、コーチングチェックリスト、モニタリング結果ノート、MS ハンドブックといったいくつかのツールを導入することとなりました。

一方で、スーパービジョン活動では、データ収集に時間が割かれてしまうことから、MS のパフォーマンス向上という本来の役割が十分に果たせないことも課題となっています。これらのツールの有用性を検証するため、タンバクンダ SR のサポートを得て、サポータブスーパービジョンのシミュレーションを行うこととし、上記ツールを実践しました。2020 年 2 月 11 日～12 日に開催されたこのトレーニングにより、MS に対するスーパービジョンやモニタリング活動におけるサポータブな側面の強化が期待されると同時に、現場に適応したツールの導入につなげることができました。



サポータブスーパービジョンのシミュレーション

文書管理・アーカイブ研修

スーパービジョン活動において、大半の MS で総務・財務・会計書類の整理に問題があることが確認されました。この文書管理に関する問題を解決するために、ANACMU 文献資料室とともに、文書の整理・管理、5S 手法に関する知識と実践に関する研修を行いました（2019 年 9 月 11～13 日）。この研修は SR と UTG にとっては指導者研修（TOT）でもあったので、今後は彼らが指導者となり、継続的に MS への文書管理指導が行われる予定です。

この研修では、文房具（バインダー、紙ばさみ、ボックスファイル、書類ケース、クリアファイル、穴あけパンチ、ホチキスなど）を UDMS と MS に配布し、実際に整理整頓を行いました。「5S」ポスターも配布され、各 MS 事務所に掲示されました。MS 事務所が整理されたことによって、スーパービジョンが効率的に行われることも期待されます。



文書管理のグループワーク

クンゲル県健康保険機構 (UDAM) スタディツアー

クンゲル県とフンジュン県の県健康保険機構（UDAM）はコミュニティ健康保険の職業化という面において、セネガル国内でも注目されています。加入率の高さやコミュニティや地方議員のコミットメントの高さなど、様々な形で成果を出しています。タンバクンダ SR は、プロジェクトの支援を得て、コミュニティベースの職業化された健康保険組合の運営に関する経験を学ぶためクンゲル UDAM へのスタディツアーを開催しました。参加者であるタンバクンダ州の UDMS や UTG は、UDAM がどのように機能し、どのような戦略に基づき運用されているかを視察しました。

表：実務担当者向け研修実績

	研修テーマ	対象	日時	場所
1	スーパービジョン研修	ANACMU, URMS, UDMS, UTG	2019年7月29日-8月2日	ジュルベル
2	文書管理・アーカイブ研修	ANACMU, URMS, UDMS, UTG	2019年9月11-13日	ンブール
3	データ分析研修	ANACMU/SR, UTG, APM	2019年11月25, 26, 29-30日	対象3州
4	クンゲル県健康保険機構 (UDAM) ス タディツアー	ANACMU/SR, UDMS, UTG, PCA	2019年12月5-6日	クンゲル
5	サポーティブスーパービジョン研修	SR, UTG	2020年2月11-13日	タンバクンダ

* APM : MS 促進係員

3. 医療機関担当者向け研修

CMU 制度オリエンテーション

MS の健全で円滑な運営には MS と医療機関が結び協定の内容が正確に理解され実践される必要があります。協定書の監督責任を持つ保健開発委員会 (CDS) の刷新は、今後の MS 運営の改善のキーとも言えます。

SR は、医療機関と MS を対象として、健康保険制度の実施と医療機関と MS の協定書のモニタリングに関するオリエンテーションワークショップを開催しました。

トゥーバ、ジョアル、チャジャエ、ンブールの保健区 (DS) で開催されたこれらのワークショップでは、基本的なサービスパッケージ内容、現場で直面する制約、MS の状況を参加

者と共有し、関係者間の連携の強化を目指しました。



CMU 制度オリエンテーション

表：医療機関担当者向け研修実績

	研修テーマ	対象	日時	場所
1	CMU 制度オリエンテーション	CDS, DS, CS, PS, UDMS, MS	2020年1月30-31日	トゥーバ保健区
2	MS との協定書に関する CMU 制度オリ エンテーション	CDS, DS, CS, PS, UDMS, MS	2020年2月18, 20日3月 02, 04日	ジョアル、チャジャエ、ン ブール保健区

* DS : 保健区 ; CS : 保健センター ; PS : 保健ポスト

4. ANACMU 職員向け研修

診療報酬請求審査実務者研修

医療審査局 (DCM) とともに、診療報酬請求審査プロセスの理解促進と改善のため、事務担当者 (州医務局、保健区職員、UTG、MS 職員) を対象とした研修をタンバクンダ州にて開催しました。講義にて審査の概要や手順を学んだ後、クンペントウム県内の医療機関を訪問して実際の診療報酬請求書類を使用して「現場での審査」の演習を実施しました。

その後、この研修は、ンブール県の担当者向けにも実施されました。

診療報酬請求審査に関わる情報処理技術研修

医療保障制度の包括的な分析により、無料医療制度とコミュニティ健康保険プログラムには機能不全があることが指摘されています。この状況に対し、DCM は診療報酬請求審査プロセスにオープンデータキット (ODK) を使用することとしました。全国で実施される診療の適切性と有効性に関する現地調査の効率性を高めるため、タブレット上の ODK フォームの扱いについて審査担当者を訓練する必要が生じました。プロジェクトは、無料医療制度とコミュニティ健康保険プログラムにおける診療報酬請求審査にかかる DCM 職員を主な対象とした研修の開催を支援しました。

州支部職員向け診療報酬請求審査研修

組織再編により ANACMU 事業局 (DO) 内に新たに診療報酬請求審査課が設置されました。同課は、MS の医療報酬請求の適切な処理のために SR をサポートする

役割を担います。ティエスで開催された診療報酬請求審査研修では、5 州の SR の実務を担う担当者を招集し、請求書の処理方法と GESTAM の管理手順について指導しました。

表 : ANACMU 職員向け研修実績

	研修テーマ	対象	日時	場所
1	診療報酬請求審査 実務者研修	SR, RM, DS, UTG	2019年10月7-11日、 12月9-13日	タンバクダ、ンブール
2	診療報酬請求審査に関わる情報処理技術研修	ANACMU, SR	2019年10月28-31日	ティエス
3	州支部職員向け診療報酬請求審査研修	ダカール、タンバクダ、カプリン、ファティック、ジュルベル SR	2020年2月24-28日	ティエス

* RM : 州保健局

コミュニケーション活動

コミュニティ健康保険を促進するには、コミュニケーションとマーケティング活動が重要です。プロジェクト第 2 期は、研修、フォローアップ、IEC ツール作成、啓発活動を実施してきました。主な活動を紹介します。

クンペントウム県の自治体首長に対するアドボカシー活動

クンペントウム県の MS は 2016 年以來、大きな財政難に直面し、10 MS のうち 2 MS しか機能していない状況でした。タンバクダ SR とともに、現況を分析し、持続可能な解決策を協議するため、関係者 (MS、オピニオンリーダー、市議) を集めた会議を開催しました。MS はこれらの財政問題に加えて、住民の加入率が低く、医療機関への診療報酬返済が滞り、MS の運営費用が負担できない状況にありました。地方自治体を含めた地域全体で解決するべく、MS の財務状況などの問題点を共有し、学生対象の健康保険プログラムへの加入促進といった新たな活動も取り入れ、今後の活動計画を作成しました。

コミュニティ・ラジオ放送

セネガルの学校年度は 10 月に始まるため、生徒を対象とするコミュニティ健康保険 (CMU-élève) も 10 月から 1 年間の保障期間に設定しています。ジュルベルの SR は、このタイミングを見計らい 2019 年 10 月に CMU-élève を特集したラジオ番組を放送しました。ローカルラジオ局の協力により、CMU-élève の加入方法・メリットなどについて、3 回のラジオ番組と 30 回の広告スポットをウオロフ語で放送しました。

女性地位向上グループを対象としたグループ加入の促進

コミュニティ健康保険はインフォーマルセクターを対象としているため、国からの補助金があるものの、MS への加入率が低いことから、MS の運営費が常に不足しています。CMU 制度の住民の理解および加入を促進するためには、地域の女性地位向上グループ (GPF) との連携が欠かせません。ティエス SR、コミュニティ開発局とともにワークショップを開催し、GPF 代表に対して MS の利点を説明し、MS へのグループ加入の可能性について議論しました。今後の MS と GPF の連携が期待されます。

街頭宣伝車を利用した啓発活動

MS は医療保障制度を農村部やインフォーマルセクターに普及する要であり、住民にとっての MS の利点や加入方法の周知は第一ステップです。ジュルベル SR は、住民への周知のため、トゥーバ・ンバケ地域において街頭啓発活動を実施しました。街宣車で各地を移動し、市場やバス停において人々へチラシを配るとともに MS の利点を説明し加入を勧めました。個々の質問へも対応し、MS の連絡先リストを手渡して、さらに質問があれば、いつでも近くの MS へ連絡できるようにしました。街宣車からは CMU のスポットや SR コミュニケーション担当者による説明を放送しました。あわせて家庭訪問も行い、241 軒を訪問し、1,034 人と直接対話をしました。

民間薬局に対するCMU制度の理解促進オリエンテーション



トゥーバンバケ地域の市場における街頭宣伝

医療保障制度の実践は、医療サービスを提供する側の理解と協力が必須です。ティエス SR は民間薬局の理解と協力を得るため、ンブール県においてオリエンテーションを開催し、医療保障制度や戦略について薬局関係者に説明しました。特に、MS の特徴と役割のほか、MS と薬局が交わす協定の運用における課題に関しても議論されました。医療保障制度の効果的な運用に資するよう、関係者の責任と役割を明確化しました。

表：コミュニケーション活動実績

県	活動	時期
ンバケ	<ul style="list-style-type: none"> ▶ コミュニティ・ラジオ放送 ▶ 薬局に対するCMU制度の理解促進とMSと薬局が交わす協約に関するオリエンテーション ▶ 街頭宣伝車を利用した啓発活動 	2019年10月 2019年12月11-12日 2019年12月18-19日
クンベントゥム	<ul style="list-style-type: none"> ▶ クンベントゥム県自治体首長に対するアドボカシー活動 ▶ BSF 受給者のMS加入促進のための関係者への研修(タンバクダ) ▶ クンベントゥム文化祭典(Pençum Niani)での啓発活動 	2019年8月29-30日 2019年11月25-26日 2019年12月27-29日
ンブール	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 女性地位向上グループを対象としたグループ加入の促進 ▶ 民間薬局に対するCMU制度の理解促進オリエンテーション ▶ コミュニティ連絡員を中心とした啓発活動実施体制構築に向けたオリエンテーション(ジョアル, チャジャエ,ンブール) 	2019年12月17日 2019年12月19-20日 2020年2月19, 21日, 3月3日

機材供与

第1期に供与されたMSへのオフィス機器に加えて、プロジェクトはMSが加入者管理をオンラインかつリアルタイムで記録できるよう、モバイルWi-Fiルーターを供与しました。UDMS事務所にはコピー機、電圧安定器を供与し、ANACMUにはデータの収集と分析を容易にするタブレットを提供しました。

表：機材の供与実績

供与機材	数量	供与先
ラップトップPC	3	MS
Wi-Fiモバイルルーター	80	UDMS, MS
タブレット	30	ANACMU
インクジェット複合機	10	UDMS
コピー機(カラー)	7	UDMS
コピー機(白黒)	3	UDMS
電圧安定器	10	UDMS
事務机	5	MS
本棚	5	MS



ANACMUへタブレットの供与

プロジェクト管理運営会議

中央および州ワーキンググループ

第 4 回中央ワーキンググループは、地域開発・社会国土公正省（MDCEST）幹部他、関係者の参加により、ジャムニャージョ（本省の所在地）にて 2019 年 11 月 6 日に開催されました。第 5 回州ワーキンググループは、10 月 10 日にクベントウム、11 月 25 日にジュルベル、11 月 28 日にティエスでそれぞれ開催されました。これら会議の主な目的は、活動の進捗、第 2 期の活動計画および 9 月末の予算執行レベルの共有することでした。

中央ワーキンググループでは、プロジェクトのニックネーム「Dooleel CMU」のスペルの修正も承認されました。



中央ワーキンググループ（於本省）

合同調整委員会

プロジェクトの第 4 回合同調整委員会（JCC）が 2019 年 11 月 6 日に MDCEST 本省にて開催されました。MDCEST 次官を議長とし、JICA セネガル事務所次長、在セネガル日本大使館代表の参加も得ました。中央ワーキンググループでの議論を確認した上で、プロジェクトモニタリングシート No.4 について協議されました。

議論の中で、プロジェクトの成果やアプローチは評価され、活動の全国展開を望んでいることが強調されました。現在本省が抱える問題点の一つは、かなりの MS が狭い地域に多く存在していることから財政的困難を抱えていることです。これに関しては医療保障制度改革の中で対応していく方針が確認されました。この解決策として、県レベルの共済組合の設立を検討することが提案されました。無料医療制度に関しては、正当な対象者のターゲティング・特定していくため、MS の事業内容に統合していくことが提案されました。

COVID-19 に対する ANACMU の取り組み

3 月 2 日に COVID-19 の最初のケースが確認された後、セネガル政府はその急速な拡大に対抗するための国家対策を迅速に実行しました。

保健社会活動省が COVID-19 感染者の発見・診断と治療を強化する一方で、ANACMU はこれらの対策を改善するために、SUNUCMU Web サイトにクラウドファンディングプラットフォームを立ち上げました。COVID-19 の感染を回避するための啓発活動も ANACMU によって行われています。



SUNUCMU の COVID-19 対策のロゴ

プロジェクトダカール事務所

ダカール： Cité Keur Gorgui, Immeuble El Hadji Serigne Mérina Sylla -près du siège de la NSIA, au rez-de- chaussée, Dakar. (E-mail : doleel.cmu@gmail.com)

プロジェクト地方事務所

ティエス： Résidence Mandiaye SQUARE, 1er étage villa n°76 Quartier 10e RIAOME, en face de la préfecture

ジュルベル： Rue Serigne Tacko Mbacké, Angle Avenue El Hadji Malick SY, Quartier Escale, Diourbel

タンバクンダ： Quartier Quinzambougou de Tambacounda, en face du camp militaire de Mamadou Lamine